

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 日本ライフライン株式会社

コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 政次 浩二

TEL 03-6711-5200

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,341	△6.5	69	△81.3	51	△86.4	137	△56.4
24年3月期第1四半期	5,710	6.1	371	127.5	375	68.7	315	162.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 99百万円 (△68.7%) 24年3月期第1四半期 317百万円 (199.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	12.74	—
24年3月期第1四半期	29.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	25,137		14,896		59.3	
24年3月期	26,230		15,067		57.4	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 14,896百万円 24年3月期 15,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,005	△4.9	62	△90.6	54	△91.5	81	△80.3	7.53
通期	23,096	△0.2	923	△19.6	920	△23.2	526	△26.9	48.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	11,302,497 株	24年3月期	11,302,497 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	500,506 株	24年3月期	500,473 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	10,802,013 株	24年3月期1Q	10,802,047 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11
5. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 四半期損益計算書関係注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(売上高について)

当第1四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、本年4月の保険償還価格の引き下げにより、主力商品である心臓ペースメーカをはじめ、当社の取り扱い商品全般の価格が下落した影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。当社グループでは販売単価の下落に対応するため拡販に努め、多くの商品において販売数量は前年同期を上回る結果となりましたものの、価格引き下げの影響を吸収するまでには至りませんでした。また、一部商品の取り扱いを前期に終了したことも売上高の減少要因となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は53億4千1百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

<品目別売上高>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	増減率
リズムデバイス	2,629	2,364	△10.1%
EP/アブレーション	1,235	1,315	6.5%
外科関連	598	589	△1.6%
インターベンション	885	735	△17.0%
その他	361	337	△6.6%
合計	5,710	5,341	△6.5%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカ、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル
外科関連	人工血管、人工心臓弁、人工弁輪、人工心肺関連商品
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、血管内異物除去用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

(リズムデバイス)

リズムデバイスにおきましては、主力の心臓ペースメーカにおける保険償還価格の引き下げが13.8%と大幅であったことから、シェア拡大による販売数量の増加に取り組みましたものの、単価下落の影響を補うことはできませんでした。また、ICD（植込み型除細動器）およびCRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）は、今後の成長が見込まれる領域として注力しておりますが、企業間競争も厳しさを増していることから、販売数量の増加は小幅なものとなりました。

以上により、リズムデバイスの売上高は23億6千4百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

(EP/アブレーション)

EP/アブレーションにおきましては、医療現場のニーズを的確に製品開発に活かした自社製品が高い評価を得ております。EPカテーテルでは、心房細動治療の増加を背景として「EPStar Libero (EPスター・リベロ)」等の製品が伸長した結果、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。アブレーションカテーテルにつきましては、販売数量は増加いたしましたものの、価格引き下げの影響により売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

以上により、EP/アブレーションの売上高は13億1千5百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

(外科関連)

人工弁関連におきましては、本年2月に発売した人工弁輪「MEMO 3D (メモ・スリーディー)」の販売数量が伸長いたしました。人工弁輪は心臓弁膜症の治療方法のひとつであり、症例数が増加傾向にあります。一方、同じく心臓弁膜症の治療に用いられる人工弁においては、治療法が機械弁から生体弁へと移行しているなか、当社でも生体弁の導入を本年12月に予定しておりますものの、現時点では機械弁のみの取り扱いのため販売数量は前年同期に比べ減少いたしました。

また、人工血管につきましては、保険償還価格引き下げがありましたものの、販売数量の増加により、概ね前年同期と同水準の売上高を維持いたしました。

以上により、外科関連の売上高は5億8千9百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

(インターベンション)

ガイドワイヤーにおきましては、優れた素材加工技術を採用し、高い耐久性を持つ「ATHLETE JOKER (アスリート・ジョーカー)」等の新製品が寄与し、販売数量は前年同期に比べ37.9%増加いたしました。また、バルーンカテーテルにおきましては、「LIFESPEAR (ライフスピーア)」シリーズが引き続き好調に推移いたしました。また、保険償還価格の引き下げが20.9%と大きく、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

さらに、昨年12月に構造的な心疾患治療器具の販売を終了したことによる影響もあり、インターベンションの売上高は7億3千5百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

(その他)

連結子会社において販売している血液浄化装置等のその他の売上高は、3億3千7百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

(損益について)

①営業利益

保険償還価格引き下げの影響により販売価格が下落したことから、売上総利益率が1.0ポイント減少いたしました。また、販売費及び一般管理費におきましては、自社製品のさらなる成長を図るために、積極的な設備投資および研究開発を行なっていることから、減価償却費および開発費用等が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における営業利益は6千9百万円（前年同期比81.3%減）となりました。

②経常利益

受取利息および受取配当金等を、営業外収益として2千1百万円計上した一方、支払利息および為替差損等を、営業外費用として3千9百万円計上した結果、当第1四半期連結累計期間における経常利益は5千1百万円（前年同期比86.4%減）となりました。

③四半期純利益

昨年12月のAGAメディカル社商品の独占販売契約終了に伴い、薬事申請中の同社商品に関する追跡調査業務等に係る対価を特別利益として2億2千2百万円計上した一方、投資有価証券評価損等を2千2百万円計上した結果、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は1億3千7百万円（前年同期比56.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第1四半期連結会計期間の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度に比べ10千3千6百万円減少し、165億3千4百万円となりました。これは主として現金及び預金が6億5千万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度に比べ5千6百万円減少し、86億2百万円となりました。これは主として有形固定資産が1億3百万円増加した一方で投資有価証券が1億1千6百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度から10億9千2百万円減少し、251億3千7百万円となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度に比べ8億8千8百万円減少し、71億9千9百万円となりました。これは主として未払法人税等が4億5千9百万円、賞与引当金（未払賞与を含む）が4億2千9百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度に比べ3千4百万円減少し、30億4千万円となりました。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度から9億2千2百万円減少し、102億4千万円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間の純資産につきましては、前連結会計年度に比べ1億7千万円減少し、148億9千6百万円となりました。これは主として剰余金の配当を2億7千万円実施したこと、及び、四半期純利益を1億3千7百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上が概ね計画通りに進捗する一方、販売費及び一般管理費予算の執行が計画に対して遅れておりますが、当該予算につきましては第2四半期連結会計期間以降の執行を見込んでおりますため、平成24年4月27日に開示した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得したリース資産以外の有形固定資産(平成10年4月1日以降に取得した建物附属設備以外の建物を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,011千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,594,722	1,944,006
受取手形及び売掛金	6,842,792	6,408,403
有価証券	405,384	405,460
たな卸資産	6,713,201	6,755,123
繰延税金資産	427,629	317,941
その他	592,765	708,528
貸倒引当金	△4,765	△4,555
流動資産合計	17,571,731	16,534,908
固定資産		
有形固定資産	4,222,753	4,326,641
無形固定資産		
のれん	3,068	1,227
その他	36,300	34,063
無形固定資産合計	39,368	35,291
投資その他の資産		
その他	4,403,674	4,247,699
貸倒引当金	△7,334	△7,334
投資その他の資産合計	4,396,339	4,240,365
固定資産合計	8,658,461	8,602,297
資産合計	26,230,193	25,137,205
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,454,368	1,492,027
短期借入金	3,870,000	3,770,000
1年内返済予定の長期借入金	312,000	312,000
未払金	885,996	747,053
未払法人税等	511,903	52,531
賞与引当金	30,847	272,567
その他	1,023,117	553,747
流動負債合計	8,088,231	7,199,927
固定負債		
長期借入金	587,000	509,000
長期未払金	576,836	576,836
退職給付引当金	1,357,348	1,384,825
役員退職慰労引当金	272,796	256,544
負ののれん	5,627	4,923
その他	274,995	308,453
固定負債合計	3,074,603	3,040,584
負債合計	11,162,834	10,240,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,241	2,115,241
資本剰余金	2,328,128	2,328,128
利益剰余金	10,996,940	10,864,533
自己株式	△351,492	△351,508
株主資本合計	15,088,817	14,956,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,458	△59,700
その他の包括利益累計額合計	△21,458	△59,700
純資産合計	15,067,358	14,896,693
負債純資産合計	26,230,193	25,137,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,710,032	5,341,660
売上原価	2,781,240	2,656,015
売上総利益	2,928,792	2,685,644
販売費及び一般管理費	2,557,764	2,616,216
営業利益	371,028	69,427
営業外収益		
受取利息	1,416	1,827
受取配当金	1,574	638
負ののれん償却額	703	703
その他	13,964	18,437
営業外収益合計	17,659	21,607
営業外費用		
支払利息	5,371	5,984
為替差損	831	29,578
デリバティブ評価損	7,140	—
その他	87	4,380
営業外費用合計	13,430	39,943
経常利益	375,256	51,091
特別利益		
固定資産売却益	273	—
薬事承認権譲渡益	244,590	—
薬事申請業務引継による受入金	—	222,990
特別利益合計	244,863	222,990
特別損失		
固定資産除却損	113	716
投資有価証券評価損	7,143	22,628
投資有価証券売却損	—	4,071
その他	450	—
特別損失合計	7,706	27,416
税金等調整前四半期純利益	612,414	246,665
法人税、住民税及び事業税	141,616	14,793
法人税等調整額	155,385	94,228
法人税等合計	297,001	109,021
少数株主損益調整前四半期純利益	315,412	137,643
四半期純利益	315,412	137,643

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	315,412	137,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,397	△38,241
その他の包括利益合計	2,397	△38,241
四半期包括利益	317,809	99,401
親会社株主に係る四半期包括利益	317,809	99,401

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
	金額	金額
EP/アブレーションカテーテル類	493,204	597,778
外科関連	112,441	88,853
インターベンション	53,608	88,803
その他	163,875	142,082
合計	823,129	917,517

②受注状況

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

③販売状況

当第1四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
	金額	金額
リズムデバイス	2,629,037	2,364,443
EP/アブレーション	1,235,345	1,315,636
外科関連	598,620	589,032
インターベンション	885,905	735,241
その他	361,123	337,306
合計	5,710,032	5,341,660

(2) 四半期連結損益計算書関係注記

当第1四半期連結累計期間の特別利益に計上されている「薬事申請業務引継による受入金」は、平成23年2月28日付でセント・ジュード・メディカル(株)及びAGA MEDICAL CORPORATION社と締結したAGA社製商品の取扱い終了に関する「TERMINATION, TRANSFER AND TRANSITION SERVICES AGREEMENT」(以下、「TTTSA」)に基づくものであり、薬事申請中のAGA社製商品に係る追跡調査業務等の対価として引継先であるセント・ジュード・メディカル(株)から受け入れたものであります。